

第9回小郡・大刀洗地域防災訓練第1回全体会議

日時：平成29年7月11日（火）14時00分

場所：大刀洗町中央公民館2階大ホール

1 主催者あいさつ

2 訓練概要について

（1）概要説明

（2）訓練プログラム説明

（3）質疑

（4）その他

3 分科会

各訓練種目について

4 訓練会場確認（大刀洗町運動公園）

第9回小郡・大刀洗地域防災訓練

平成29年9月10日(日)

プログラム (案)



三井消防署作成

印刷日：平成29年7月25日

1 プログラム項目 (案)

No.	種目 (予定時刻)	訓練概要	実施機関	車両等
	開会式 9:30～	別途計画		
1	シェイクアウト訓練 (9:30～)	緊急地震速報を放送～来賓者を含め全員で一斉に安全確保行動(頭に手を当てて低い姿勢を約1分間)をとり地震災害への意識を高める。 地震体験車を本部テント前で実演する。(実演後展示場所へ移動)	来賓者を含め全員参加 消防署(地震体験車)	1台
2	災害対策本部 運用訓練 (9:30～11:25)	情報収集伝達～災害対応訓練 管内の被災状況を把握し、必要な対応を具体的に指示する。 ・偵察隊、関係機関からの情報収集⇒分析⇒判断⇒指示⇒対応 ・関係機関への要請、情報共有 ・MCA 防災行政無線(トランシーバー代用)	大刀洗町災害対策本部 小郡市災害対策本部 ・消防署 ・消防団 ・警察署 ・自衛隊	
3	陸上偵察 ・広報訓練 (9:35～11:10)	会場を巡回しながら被災情報収集活動。「(現示カード)手交で想定付与する」 必要な広報活動や、災対本部への伝達、現場案内などを行う。	・警察(パト・白バイ) ・自衛隊(バイク) ・大刀洗町広報車 ・大刀洗町消防団 ・小郡市消防団	2台 2台 1台 1台 1台
4	上空偵察 ・広報訓練 (9:40～9:50)	上空からの偵察、広報活動を行う。 対策本部警察官と交信。	・県警ヘリ	1機
5	倒壊家屋訓練 A 大刀洗町 B 小郡市 消防署 C 小郡市 (9:40～10:30)	3箇所の家屋倒壊現場で、地震直後に【自主防本部(一時避難所)】を設置。 ①自主防災会主導による(自助、共助) ・救出救助活動(ジャッキやバールを活用) ・火災警戒行動(消火器) ・負傷者等への応急手当訓練 ・搬送訓練(リヤカーや車椅子、応急担架、車椅子補助器具) ②消防団による活動(公助) ・救出救助～エンジンカッターやチェーンソーで救助 ・消防ポンプ車による火災防ぎょ対応 ・避難者の行動支援	・自主防災会 (大刀洗町・小郡市) ・大刀洗町消防団 ・小郡市消防団 ・防災協会(消火器指導) ・消防署 ・DMAT ・普及員 (小郡市消防団・民間) 【要避難者・訓練者】 ・幼年消防クラブ (大刀洗町・小郡市) ・防災協会 ・大刀洗町職員 ・小郡市職員 ・ダミー30程度	4台 4台 2台 1台
6	避難所運営訓練 (9:40～11:25)	・避難者管理、給水給食、仮設トイレ等対応訓練(災対本部連携) ・医師会による健康チェック(血圧測定・健康相談等)	・大刀洗町職員 ・小郡市職員 ・医師会 ・ボランティア運営要員	
7	防災ボランティア センター設置訓練 (9:40～11:25)	・ボランティアセンターを設置し各種対応訓練 ・飲料水・非常食・毛布などの物資搬送 避難者への支援(車椅子補助など) ・車中泊者の健康チェック	・社会福祉協議会(県市町) ・みい青年会議所 ・防災協会 ・女性各団体	各1台

8	通行障害 排除訓練 (9:50～10:10)	偵察隊により発見した通行障害を、バケットローダー、重機、トラック等により排除する。	・自衛隊 ・大刀洗町建設業協同組合 ・警察	2 台 2 台 2 台
9	医療救護訓練 (9:50～11:00)	・応急救護所（エアテント）で、医師会・消防団指導による任意参加者への AED＋心肺蘇生法等救命手当訓練。	・医師会及び救急告示病院 ・普及員 （小郡市消防団・民間） ・避難住民 任意	1 台
10	ライフライン 復旧訓練 (10:05～11:00)	対策本部からの要請により、電力復旧及び通信手段確保訓練を行う。	・九州電力甘木営業所 ・NTT 西日本福岡支店	4 台 3 台
11	水害孤立者 救助訓練 (10:30～11:00)	地震のあと、大雨洪水警報が発令。 （避難判断水位に到達し、1 時間後に氾濫危険水位到達見込みの場合避難勧告） 河川が氾濫し、洪水で孤立した住民を救助。 ボート資機材搬送～ボート組み立て～避難所へ誘導。 （ボート漕行は徒手又は台車による）	・大刀洗町 ・大刀洗町消防団 ゴムボート ポンプ車 軽トラ ・自衛隊 ボート ・幼年消防クラブ	1 台 1 艇 1 台 1 台 1 台 1 艇
12	応急給水訓練 (10:10～10:30)	・給水車による応急給水支援訓練 ・住民はビニル容器（6 リットル、3 リットル 20 個程度）に水をいれ避難所等への搬送訓練	・自衛隊 ・ボランティア運営要員	1 台
13	化学物質 災害対応訓練 (10:30～11:00)	化学物質災害により多数の負傷者が発生したため、警戒区域の設定、物質の飛散防止、物質の特定、教護救出を行う。	・県警 NBC テロ対策隊 ・消防署 ・DMAT ・要救（ダミ 10 名程度）	3 台 6 台 1 台
14	水防訓練 (11:00～11:25)	・水防団および住民総出（任意参加）による土のう搬送～積み上げ訓練。 ・本部席前に積み土のう工法約 50m を作成する。 【土砂】前置 20 トン、搬入 2 トン	・各消防団（指揮車） ・大刀洗町建設業協同組合 ・自衛隊 ・参加者全員	2 台 1 台 1 台
15	炊き出し ・給食訓練 (9:30～11:25)	・自衛隊および住民協働による炊き出し訓練。 ・食事を避難所や本部席へ搬送する訓練 ※炊き込みご飯（米 30 キロ、300 食分）	・自衛隊 ・女性各団体	1 台
16	弾道ミサイル 住民避難訓練 (11:25～11:30)	屋外スピーカーから国民保護サイレンを放送する。（頑丈な建物等へ避難する。建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭を守る）	来賓者を含め全員参加	
	閉会式	別途計画		
備考 訓練参加者に、帽子・手袋の着用で参加を呼びかける。 防災リーダーにヘルメット、プラスチックメガホンなど持参させる。				

※展示車両等

- ・緊急消防援助隊（支援車展示）
- ・地震体験車(体験可能)
- ・展示コーナーを設けるため、関係機関に確認する。

2 タイムスケジュール

No.	種目 (予定時刻)	9 : 30～	10 : 00～	10 : 30～	11 : 00～
	開会式				
1	シェイクアウト訓練				
2	災害対策本部運用訓練				
3	陸上偵察・広報訓練				
4	上空偵察・広報訓練	○			
5	倒壊家屋訓練A～C				
5	消防団消火				
6	避難所運営訓練				
7	ボランティアセンター設置訓練				
8	通行障害排除訓練				
9	医療救護訓練				
10	ライフライン復旧訓練				
11	水害孤立者救出訓練				
12	応急給水訓練				
13	化学物質災害対応訓練				
14	水防訓練				
15	炊き出し・給食訓練				
16	弾道ミサイル住民避難訓練				
	閉会式 11 : 30～				
○＝ヘリ連携時刻					

【資料】

*シェイクアウト訓練

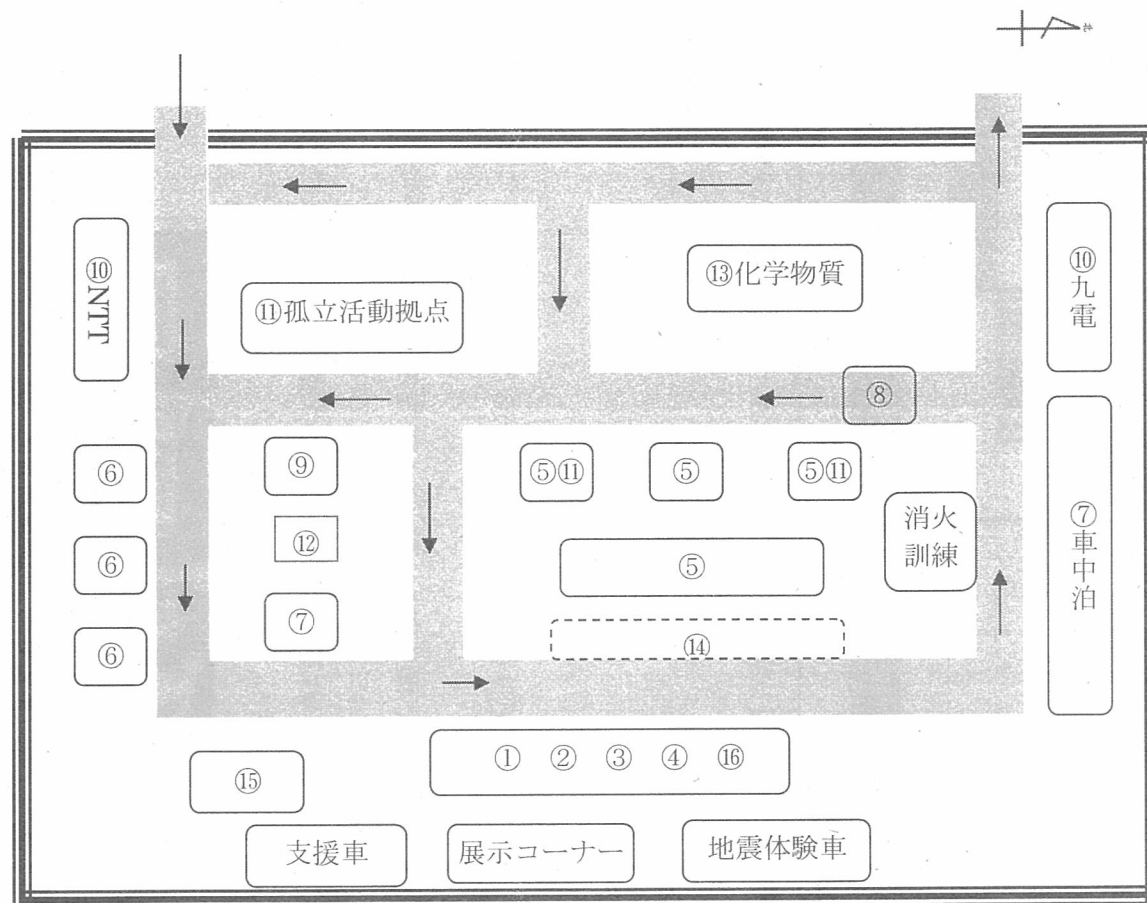
「地震を吹き飛ばせ」といった意味の造語で、2008年10月に米カリフォルニア州で始まった地震防災訓練。

安全確保行動1・2・3「まず低く、頭を守り、動かない」を実施することがなぜ大切なのでしょう？いざという時にすばやく反応するためには頻繁に練習を積んでおく必要があります。

地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。いざという時に備えておくためには日頃の訓練が必要不可欠です。



会場レイアウト



- ① シェイクアウト訓練
- ② 災害対策本部運用訓練
- ③ 陸上偵察・広報訓練
- ④ 上空偵察・広報訓練
- ⑤ 倒壊家屋A～C
- ⑥ 避難所運営訓練
- ⑦ ボランティアセンター設置訓練
- ⑧ 通行障害排除訓練
- ⑨ 医療救護訓練
- ⑩ ライフライン復旧訓練
- ⑪ 水害孤立者救出訓練
- ⑫ 応急給水訓練
- ⑬ 化学物質災害対応訓練
- ⑭ 水防訓練
- ⑮ 炊き出し・給食訓練
- ⑯ 弾道ミサイル住民避難訓練

==== : 見学者通路

4 参加団体・種目一覧

No.	団体 種目	住民	小郡市消防団	大刀洗町消防団	小郡自衛隊	県警・小郡署	小郡市	大刀洗町	聖マリア病院	消防署	医師会	大刀洗町建設協同組合	みい青年会議所	防災協会	幼年消防クラブ	女性防火クラブ	ＺⅡ 福岡	九州電力 甘木	小郡市健母の会	大刀洗町女性の会	県社協	小郡市社協	大刀洗町社協	大刀洗食生活改善	小郡市自主防災組織	大刀洗町自主防災組織	団体計	車両計	人員計
1	シェイクアウト							●		○					○												全		全員
2	災対本部運用		○	○	○	○	○	●		○																	7		17
3	陸上偵察・広報		○	○	○	○		●																			6	7	7
4	上空偵察・広報					●																					1	1	5
5	倒壊家屋A	○		○				●							○					○			○		○	6	11	203	
〃	倒壊家屋B	○					●		○	○					○				○			○			○	7			
〃	倒壊家屋C	○	○				●								○				○			○			○	6			
〃	〃 消火訓練	○												○											○	○	3		
6	避難所運営	○					●	●																		2		6	
7	ボランティアセンター	○									○		○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	10		(54)
8	通行障害排除				○	○						○														3	6	10	
9	医療救護	○	○								○															2	1	18	
10	ライフライン復旧																○	○								2	7	14	
11	水害孤立者			○	○			●							○											4	4	27	
12	応急給水	○			○								○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	10		(56)
13	化学物質災害					○			○	●																3	10	19	
14	水防	○	○	○	○							○														全	4	全員	
15	炊出し・給食	○	○		○		○	●								○			○	○				○	○	○	8	2	(39)
16	弾道ミサイル避難訓練							●																		全		全員	
	車両(延べ)																										53		
	人員(延べ)																												475

No. 9 医療救護訓練 9:50～11:00 (70 分間)

1 訓練概要

応急救護テント（事前設営）内において、訓練参加者（倒壊家屋実施者）への救命手当指導を実施する。また、災害地点（倒壊家屋・多数傷病者事故）から搬送される傷病者の診察及びトリアージを実施する。

2 訓練項目

- ① 訓練 5「倒壊家屋訓練」に参加者への救命手当指導
訓練参加者が避難住民として、避難所へ移動する途中、応急救護テントに立ち寄り心肺蘇生及び AED 取扱い訓練を実施する。
- ② 訓練 5「倒壊家屋訓練」から救出された負傷者の診察及び搬送指示
倒壊家屋からの救出者については、全て死亡診断とし、避難所への搬送を指示する。（エアテント北側へ）
- ③ 訓練 13「化学物質災害対応訓練」から救出された傷病者のトリアージ
- ④ 訓練 5 及び訓練 13 における死傷者数の把握と対策本部への情報提供
- ⑤ 訓練 6「避難所運営訓練」で、避難住民の健康チェック、医療相談指導

3 準備品

- ① 机×3（町準備）
- ② 椅子×3（町準備）
- ③ ホワイトボード×1（町準備）
- ④ CPR 訓練人形×4（署準備）
- ⑤ AED トレーナー×4（署準備）
- ⑥ トリアージシート一式（署準備）

4 参加機関・人員

運営団体	人員		
小郡三井医師会	10	医師 5、看護師 4	
神代病院・嶋田病院	5	応急手当普及員	
小郡市消防団・女性団員	3		
計	18		

※ 入場で車両を使用した場合は、下車後車両待機場所へ移動すること。



大刀洗町運動
公園テニスコート

訓練参加車
両駐車場

訓練会場

大刀洗町役場教育
委員会運動公園

新廣瀬商事(株) 本社

大刀洗斎場ふるさと

来賓駐車場

一般駐車場

看板が無い場合は
駐車禁止



運動公園 横120m 縦156m
訓練会場 横120m 縦90m